

### 二本松の大内俊幸選手(62)

# 市長に世界一報告

## マスターズウエイトリフティングV

### 市栄誉賞を授与



左から安部さん、大内選手、新野市長、小泉教育長

ワールドカップマスターズウエイトリフティング(重量挙げ)選手権大会で優勝した二

本松市の大内俊幸選手(62)が、市役所を訪れて新野市長に喜びを報告した。大会結果を報告し「初めての出場で優勝できてうれしい。皆さまの支援が力になった」とメダルを掲げて感謝の言葉を述べた。新野市長が「世界一は素晴らしい。年配者をはじめ市民の元気につながる」とたたえ、市栄誉賞を授与した。

信一市教育部長らが同席した。大内選手は市内木幡出身で、木幡中、福島農蚕(現福島明成)高卒。高校時代に県王者となったが、四十年以上競技を離れていた。還暦を機に再開し、自宅の養蚕小屋を改修したトレーニングルームや母校の福島明成高で仕事の合間に練習を重ねた。大会は豪州ゴールドコーストで十月二十七日に開かれた。大内選手はM60(六十歳から六十四歳)69キロ級に出場し、スナッチ52キロ、ジャーク73キロの合計125キロで制した。

### W杯マスターズ重量挙げ

### 69Mキ級 大内(二本松)優勝



ワールドカップマスターズウエイトリフティング選手権大会は27日(土)丸中建設、写真

がスナッチ52キロ、ジャーク73キロのトータル125キロで優勝した。M65(男性65歳、69歳の部)77キロ級に出場した福島市の今野金哉(69)県警OBはスナッチ60キロ、ジャーク66キロのトータル126キロで3位だった。